

第7回知立市総合教育会議 議事録

1. 開会

司会（企画部長）：それでは只今より、平成27年度第7回総合教育会議を開催します。

前回臨時開催いたしました、第6回会議の審議内容につきましては、お手元にあります資料のとおり、変更を加えた箇所がございますのでその確認をしていただきますとともに、それ以外の部分につきましても引き続きご審議いただきたいと思います。本日の審議内容を反映させまして、議題にあります、知立市いじめ防止基本方針（案）をパブリックコメントに諮ってまいりますので、よろしくお願いします。

それでは、これより、議長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

2. 議長進行

市長：それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。前回会議をふまえ、変更した箇所は、資料の新旧対照表に記載させていただいております。こちらに記載しなかった点としましては、情報公開のあり方につきまして、法律に基づいた公開の進め方を行っていく、つまり調査機関に対する情報公開する時点では、また一般への情報公開はしないでおく、ということです。

教育長：市長への重大自体を報告する際に併せて議会へも報告をして欲しいという意見もありますが、この時点ではまだ調査を進める段階ですので、公開を行ってかえって混乱を招く事態を懸念いたしまして、原案どおりの公開の時期を、そのままでいいのではと思います。

蔭山委員：そうしますと、6ページ下から11行目について、「重大事態が発生した場合、学校は教育委員会を通じて市長及び議会へ、事態発生について報告します」との記述が、説明と矛盾してしまいます。

教育長：9ページに図がありまして、その図では、初期の報告先は、教育委員会及び市長となっておりますので、9ページの図に合わせるとして、

6 ページ下から 11 行目の記述は、「市長及び議会へ」の「及び議会」を削除し、7 ページ 12 行目の「市長に報告します」を「市長及び議会に報告します」と追加し、整合性をとります。

蔭山委員：6 ページ下から 2 行目の「支援チーム」という記述と、7 ページ「指導主事や専門家」という記述が、同じものを指すならば、統一して「指導主事や専門家などによる支援チーム」という表現に変更したほうがよいと思います。

市長：意見がなければ、蔭山委員の意見を採用したいと思います。

蔭山委員：7 ページ 6 行目、「訴訟等への対応を直接目的と」との記述ですが、直接に対応した、間接的な目的を指すものがないのであれば、直接という表現は無駄な表現だと思います。

市長：意見がなければ、蔭山委員の意見を採用し、「訴訟等への対応を目的と」と表現を改めます。

蔭山委員：さらに 7 ページの下から 2 行目「同種の事態の発生の防止」について、通常は発生した後の対応について検討すべき箇所ですので、「同種の事態の再発生の防止」という表現ではいかがでしょうか。

学校教育課担当：推進法から引用した表現としております。

市長：表現については、法の引用部分なのでそのまま原案のとおりでよいと思います。

蔭山委員：市長による、再調査についての記述がありますが、再調査の厄介な点として、加害者等が調査協力に応じない、という問題があります。いじめに対する措置の記述に協力義務について言及してはいかがでしょうか。実際、調査委員会を経験すると、これは何を根拠に調査すればいいのか、調査に応じない対象に対して、どのように応じてもらえばいいのか、一つ、ポイントとして、表現があると非常にわかりやすくなるのですが。

教育長：いじめ防止基本方針の策定に立ち返ると、やはり、調査協力への

義務、という表現は、そぐわないのではないかと感じます。そもそも基本方針ですので、強制力を持たせることも難しいんじゃないかなと思います。

竹内委員：9 ページ図の内容ですけれども、教育委員会は、学校もしくはいじめ問題対策委員会から調査結果の報告を受け取り、議会へ「事案の報告」をすることとなっておりますが、この「事案」という表現があいまいなので、当初、市長に報告する「重大事態」の報告と表現を統一してはいかがでしょうか。

蔭山委員：9 ページ知立市いじめ問題対策委員会から、学校に対して「対応の支援調査」とありますが、この段階では対応ではないのではないのでしょうか。「調査」のみとしたほうがいいと思います。また、学校から教育委員会へ対して、通常のいじめ事案の場合は、「調査結果の報告」ではなく、その前の指示を受けた「対応結果の報告」が正しいと思います。そして、教育委員会の対応 B について、「対策等を実行的に行う場合」ではなく、「調査・確認が不十分であると判断した場合」とするべきところだと思います。

竹内委員：先ほどの重大事態の報告の表現ですが、重大事態の場合報告することが前提ですので、市長から議会に対しての報告と表現を統一し、調査結果の報告としてもいいと思います。

宇納委員：質問ですが、8 ページ上のいじめ対策の体制としては、いじめ防止のために必要な組織は、必ずしも学校のみではないと思いますが、いかがでしょうか。

竹内委員：学校、という組織を学区、と読み替えていく、ととらえるのはどうでしょうか。

教育長：体制という意味では、いじめ・不登校対策委員会にそういった様々な組織の方々が含まれますので、表現としては原案のままでよいと思います。

市長：以上をまとめさせていただき、パブリックコメントを実施してまいりたいと思います。

市長：続きまして、議題 2 その他 について事務局よりお願いします。

事務局：はい、来年度総合教育会議の開催日程ですが、本年度が教育大綱策定年であったこともあり、4 月より審議を重ねてまいりましたが、28 年度といたしましては、別紙の開催日程（案）をご覧ください。案としましては、年間 3 回開催を予定しております。その他、随時緊急を要する議題が発生した場合は、総合教育会議設置の趣旨のとおり臨時的に開催をまいります。原則、教育委員会開催日の午後としております。

市長：日程に関しては、事務局の説明のとおりでよろしいでしょうか。

（委員意見なし）

3. 閉会

市長：ありがとうございます。それでは最後に事務局より連絡をお願いします。

事務局：会議冒頭でご説明しましたとおり、知立市いじめ防止基本方針（案）につきましては、2 月 1 日よりパブリックコメントを実施してまいります。また、知立市教育大綱につきましては、1 月 18 日よりパブリックコメントを行っております。結果につきましては、次回総合教育会議にて、ご報告させていただきます。

次回、第 8 回総合教育会議は、3 月 11 日（金）1：15～ 第 1 会議室にて行いますので、よろしくお願いします。